

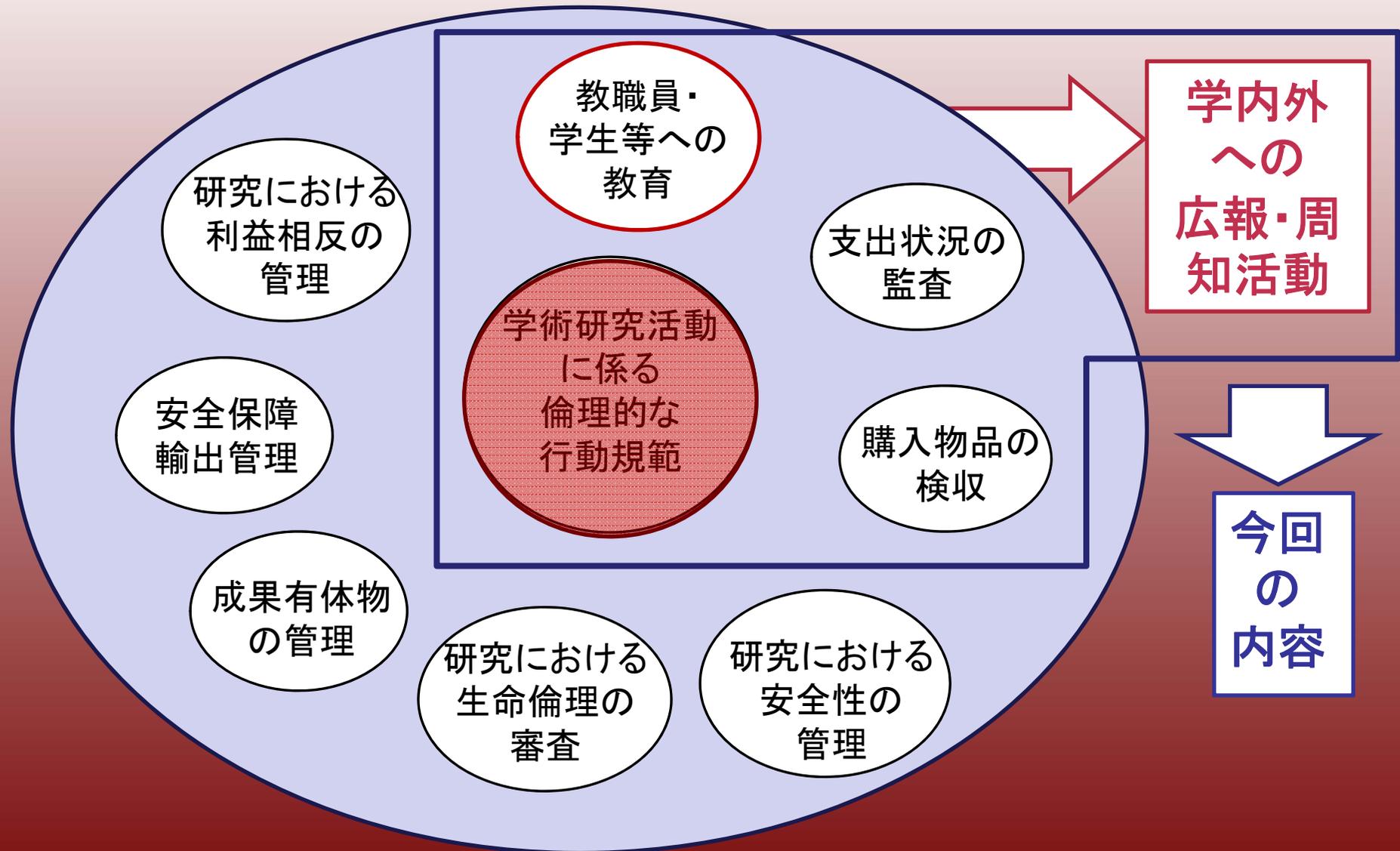
# 早稲田大学における 責任ある研究活動への取組み

早稲田大学  
理事(研究推進統括、情報化推進)  
理工学術院 教授  
深澤 良彰

fukazawa@waseda.jp

2013年2月19日

# 大学における「責任ある研究活動」の概観



# 学術研究活動に係る倫理的な行動規範

## 憲章・規程等の制定

### 学術研究倫理憲章

学術研究活動に係る者の倫理的な態度と行動規範

### 学術研究倫理に係るガイドライン

研究者の責務や研究活動の適切な遂行等に係る具体的な指針

### 研究活動に係る不正防止に関する規程

研究/研究費不正の防止と不正行為への対応等に係る規程

# 早稲田大学学術研究倫理憲章(1／3)

早稲田大学は、「学の独立」および「進取の精神」という建学の精神に則り、学問の使命に対する高い理想を持ち、学術研究活動を通じて、人類の福祉と世界平和に貢献する。学術研究に関与する者は、それが人間、社会および自然環境に多大な影響を及ぼすことに鑑み、本学が受け継いできた良き伝統を堅持しつつ、常に良心に従って自己研鑽に努め、現代社会の今日的課題にも果敢に挑戦する。本学は、学術研究の信頼性と公正性および自由な研究活動の遂行を確保し、これに相応しい社会的責任を自覚して、本学の学術研究が社会から多くの信頼と尊敬を得られるよう、本学の研究活動に携わるすべての者に係る倫理的な態度と行動規範として、以下を宣言する。

# 早稲田大学学術研究倫理憲章(2/3)

1. 本学の学術研究は、人類の福祉や世界平和など、人類共通の課題に貢献する。
2. 本学の学術研究は、人間の尊厳を守り、生命倫理を尊重し、人間、社会、自然との調和的発展や社会的弱者の保護、地球環境の保全に十分配慮し、公益の増進に積極的に貢献する。
3. 本学の学術研究は、国際的規範、国内外関係諸法令および学内諸規定とその精神を遵守し、社会的良識をもって誠実に遂行し、研究成果を適切に発表することで時代や社会の要請に積極的に応える。

## 早稲田大学学術研究倫理憲章(3/3)

4. 本学の学術研究においては、人権を尊重し、個人情報  
の保護に留意し、共同作業の過程において一切  
のハラスメント行為や国籍、性別、年齢等による差別  
が生じないように努めるとともに、そうした行為のない  
大学づくりのために一致協力する。
5. 本学の学術研究においては、社会との連携活動に  
伴う弊害が生じることのないよう留意し、適切なマネ  
ジメントに努める。
6. 本学は、研究倫理に係わる教育・研修、研究環境の  
改善・整備および安全管理等に努め、不正行為が起  
こらない環境づくりに努める。

# 学術研究倫理に係るガイドライン

## ～大学の責務～(1/2)

- (1) 本学は、研究者等の研究倫理に係る意識を高め、研究活動に係る不正行為および研究費の取扱いに係る不正行為を防止するため、必要な措置を講じる。
- (2) 本学は、研究者等による研究活動に適正さを欠く行為が認められた場合、迅速かつ適切に解決に当たる態度を内外に明らかにしてアカウンタビリティを確保し、原因の究明を行った上で厳格かつ適切な措置を講じ、常に研究体制の改善を図る。

# 学術研究倫理に係るガイドライン

## ～大学の責務～(2/2)

(3) 本学は、本学が研究者等に交付する研究費および研究者等が学外から獲得した研究費(以下「研究費」という。)を適切に管理し、研究費を支出するときまたは支出した後、当該支出が適正であるかを厳格に確認し、監査する。

(4) 本学は、研究者等による研究活動に係る法令等の違反を防止するため、必要な教育および研修を実施する。

# 学術研究倫理に係るガイドライン

## ～研究者の責務～

- (1) 基本的事項
- (2) 研究情報等および研究に関する装置等の管理
- (3) 研究成果の適切な公表・オーサーシップの基準
- (4) 他者の業績評価
- (5) 個人情報等の保護
- (6) ハラスメントの禁止

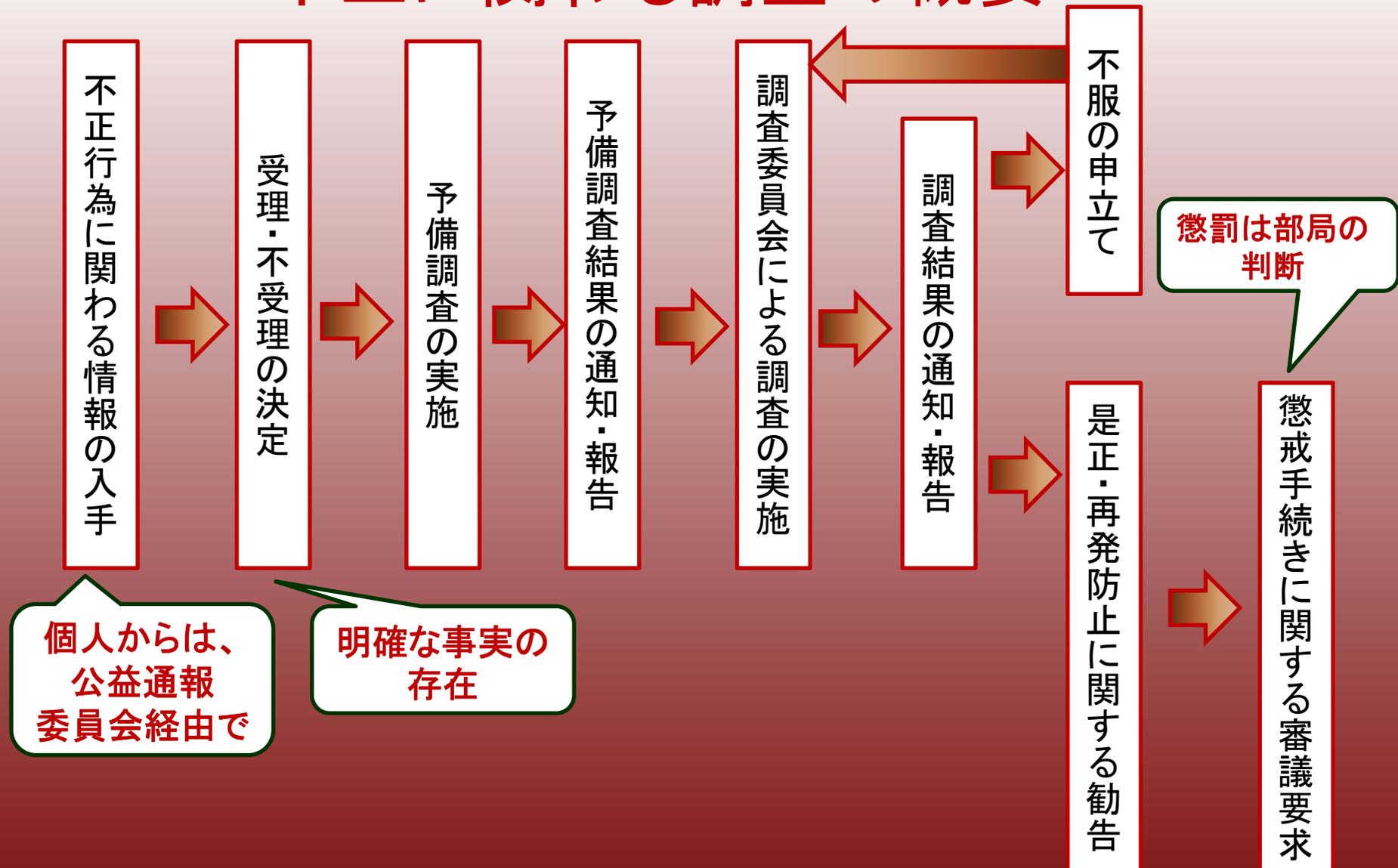
詳細は<http://www.waseda.jp/rps/ore/jpn/rules/guideline.html>を参照



# 研究活動に係る不正防止に関する規程

- 趣旨
- 定義
- 不正行為の禁止
- 研究費の取扱いに係る大学の対応
- 誓約書の提出
- 研修および科目等の受講
- 学術研究倫理委員会の設置
- 倫理委員会の委員長および副委員長
- 倫理委員会の運営
- 倫理委員会の職務
- 不正行為に関する予備調査
- 調査委員会の設置
- 調査委員会による調査の実施
- 調査対象者の追加
- 調査案件の分離
- 調査対象者の不服申立
- 総長等への報告等
- 調査対象者への配慮
- 守秘義務
- 個人情報情報の保護

# 不正に関わる調査の概要



# アカウントティングセンター(検収担当)の設置

## アカウントティングセンター(検収担当)・検収デスク他における検収



対象: 公的資金(研究資金・教育資金)による、1円以上の用品費・消耗品費・図書資料費・印刷製本費・機械器具・備品・図書・代行購入のすべて

**納品物**

**納品書(または領収書)、  
発注書へ検収印**

<http://www.waseda.jp/kenshu-center/kenshu-center/kenshu-center.html>

# 公的研究資金の監査体制

- 研究推進部による執行管理
  - 定期的なモニタリング(経理証憑の確認)の実施
- 監査室による監査
  - 公的研究資金監査
  - 契約監査
  - 業務委託監査

# 公的研究資金執行管理

- 対象課題

文科省科研費、厚労科研費、GCOE、戦略的創造研究推進事業費他

- 対象課題数・・・ 168課題(2012年度)

公的研究資金採択件数の10%以上

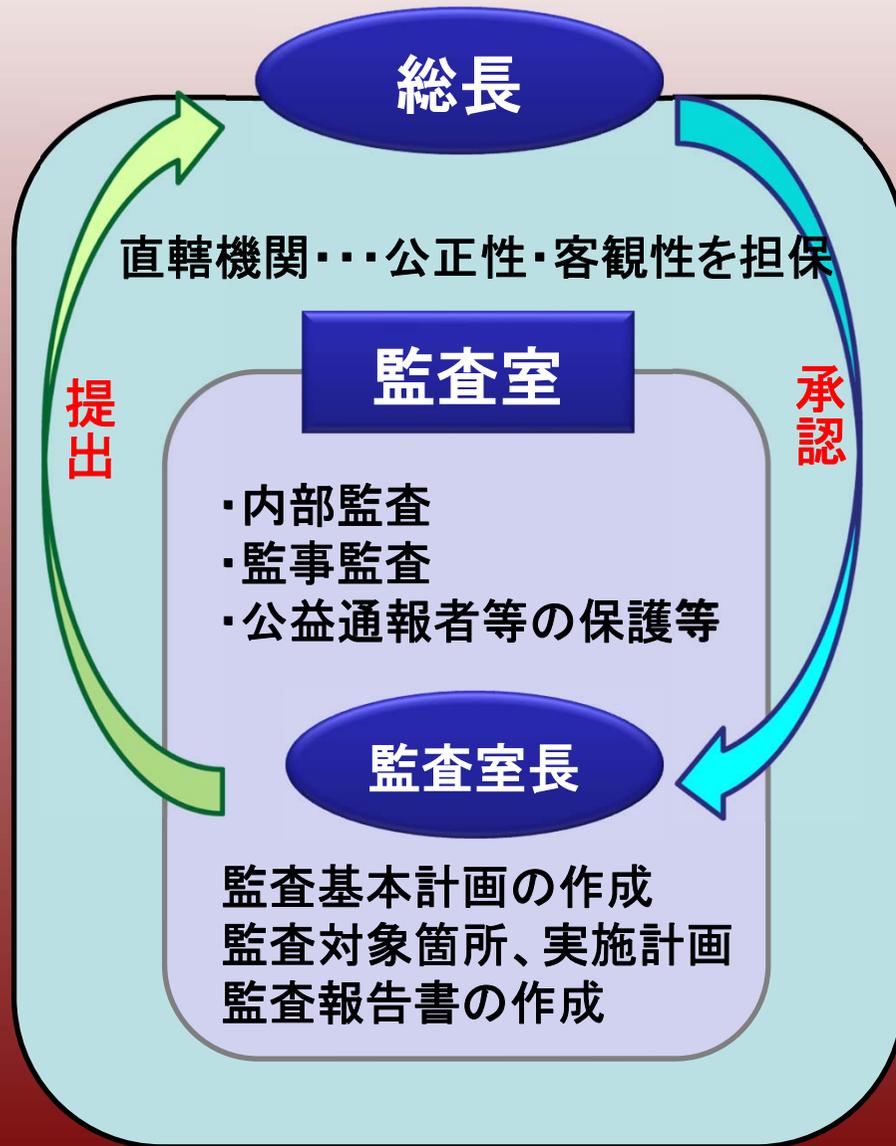
- チェック方法

研究推進部＋学内経理担当者でチームを編成し、年2回定期的に経理証憑を確認

- 事後対応

改善点の検討、監査室への報告他

# 監査室とその監査内容



## 監査の区分

- ・定期監査
- ・特別監査
- ・臨時監査

## 監査の種類

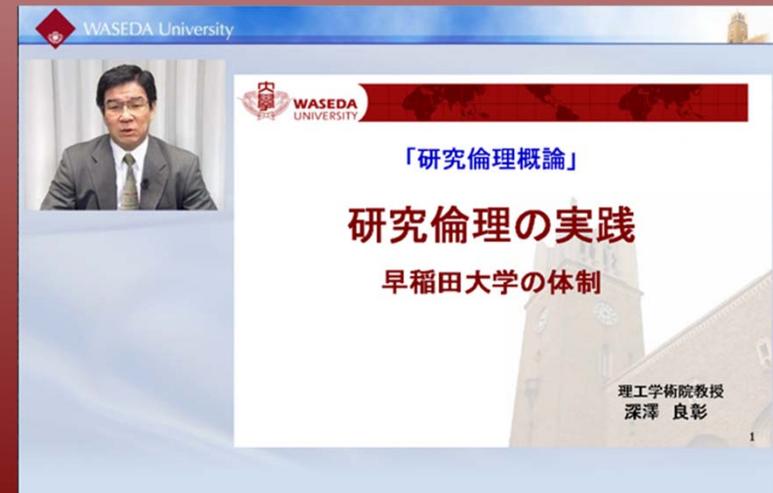
- ・業務監査
  - ・経理処理監査
  - ・**公的研究資金監査**
  - ・公的教育資金監査
  - ・テーマ監査
- ・財務監査

## 学生対象倫理科目

# 「研究倫理概論」(Research Ethics)

—研究者を目指す人々へ—

- 目的: 研究倫理に関する理解を深めること
- 概要: なぜ研究倫理か、研究の計画、研究の遂行、研究の成果等に関する基本的事項について、具体的な事例を交えながら、学内外14名の専門家より学ぶ
- 対象: 全学部の3年生以上、全研究科の大学院生
- 学期・単位: 秋学期・2単位
- 形式: Course N@viを使用したフル・オンデマンド授業
- 科目登録: Webによる申請



## 学生対象倫理科目

# 「研究倫理概論」－研究者を目指す人々へ－ シラバス(1/2)

### 【序論 なぜ研究の倫理か 現代世界における科学技術研究】

- ① はじめに:なぜ研究倫理か(土田 友章)
- ② EU/欧米諸国における研究倫理(福田 耕治)
- ③ 研究における不正行為:FFP(ねつ造・改ざん・盗用)の実際  
(白楽 ロックビル)
- ④ 研究における不正行為と法(横野 恵)

### 【研究の計画】

- ⑤ 研究計画のあり方(山内 繁)
- ⑥ 被験者保護の基本①(ヒトゲノム、ES細胞を含む)(齋藤 有紀子)
- ⑦ 被験者保護の基本②(動物実験を含む)(田村 京子)
- ⑧ 心理学と研究倫理(嶋田 洋徳)
- ⑨ 研究と利益相反(浦川 道太郎)

## 学生対象倫理科目

# 「研究倫理概論」(Research Ethics) －研究者を目指す人々へ－

### 【研究の遂行】

- ⑩ 研究ノートとデータ管理の実践(大須賀 壮)
- ⑪ メンターとトレイニー, Authorshipと出版の倫理, 共同研究(土田 友章)

### 【研究の成果】

- ⑫ 知的財産権をめぐって(高林 龍)
- ⑬ 企業と研究倫理(大塚 英明)
- ⑭ 安全保障と科学技術:  
科学技術のミスマスのリスクと科学者の責任(古川 勝久)
- ⑮ 研究倫理の実践:早稲田大学の体制(深澤 良彰、土田 友章)

## 学生対象倫理科目

# 「研究倫理概論」以外の設置科目

「科学倫理」(オープン教育センター)

「技術倫理」(基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部)

「生命倫理科学」

(理工学部・先進理工学部・基幹理工研・創造理工研・先進理工研)

「科学技術と倫理」(理工学部・先進理工学部)

「研究倫理:基礎と実践演習」(先進理工研究科)

「生命理工学倫理論」(先進理工研究科)

等

# 教職員向けオンデマンド研修

- 概要: 研究における不正行為とは何か、不正行為に対する本学の取り組み等、研究を進める上での留意点等について
- 提供方法: 本学標準のLMS( Course N@vi) 上に置かれたオンデマンドコンテンツ
- 内容
  - 「研究と倫理」  
(講師: 本学理工学術院教授 研究推進総括理事 深澤良彰)
  - 「知的財産権をめぐって」  
(講師: 本学法学学術院教授 高林龍)
  - 「メンターとトレイニー、オーサーシップと出版の権利、共同研究」  
(講師: 本学人間科学学術院教授 土田友章)

全教職員を集めての  
研修の難しさ

# 類似度判定機能の提供

- 2012年4月より、米国iParadigms社の『Turnitin』を導入
  - LMS「Course N@vi」のレポート提出機能とAPI連携して利用
  - レポート作成の際の**不正の抑止力**としての効果を期待
  - 教員によるレポート課題作成時に設定が可能

類似度判定  判定を行わない  判定を行う

対象：  
doc、docx、  
pdf、txt

- 学生からのレポート提出時にも注意を促す（類似度判定機能の設定有無に関わらず同じ画面が表示される）

上記の内容を了解した上で、提出するレポート・論文等について不適切な剽窃（盗用）をしていないことを  
 確認しました。

剽窃・盗用に関する注意点を確認したうえで、「確認した」ことを表明しないと、レポート提出ができない

レポートを提出する

- 研究用には同社のiThenticateを提供
- 正しい引用かどうかは、教員の判断

# 類似度判定の方法

現時点では、  
学生には、公  
開していない

- ❏ 「Course N@vi」に提出されたレポート
- ❏ 30分に1回 『Turnitin』に転送、判定



❏ 判定結果は、教員が「Course N@vi」から確認

The screenshot shows a submission list entry for a student named 本田 絢 (0000384223) who submitted a report titled 'テストレポート' on 2012/04/10 at 15:32. The submission status is 'コメント 未採点' (Comments: Not graded) with a score of 0/100. A red box highlights the '類似度判定結果: 7%' (Similarity check result: 7%). Below the submission, there is a '提出済みにする' (Mark as submitted) button and the name of the instructor, 早稲田 一郎 (1AXX0001).

類似度判定結果が表示:  
○%の部分をクリックすること  
で、判定内容の詳細を確認

This is a duplicate of the Turnitin Match Overview page shown in the diagram above, displaying the same list of sources and their 1% similarity percentages.

# 広報活動

- Webページ: 研究倫理オフィス
  - 研究倫理に関する、学内外からのワンストップの入口
- パンフレット
  - (必要に応じて) 教員、学生、職員などステークホルダーごとに
  - 英語版も用意
- 講演会

等



# 研究倫理オフィスWebページ

<http://www.waseda.jp/rps/ore/>

研究倫理に  
関する  
ワンストップの  
入口



Office of Research Ethics

早稲田大学研究倫理オフィス

## ホーム

- [本学の研究倫理に係る取り組み](#)
- [憲章・行動規範](#)
- [学術研究倫理委員会](#)
- [倫理審査に関する手続き](#)
- [研究倫理科目・講習等](#)
- [利益相反マネジメント](#)

## お問い合わせ先

- [関連リンク集](#)

## LATEST NEWS & TOPICS

### ニュース&トピックス

2012年12月14日

[人を対象とする研究等倫理審査 審査結果更新](#)

人を対象とする研究等倫理審査の2012年度審査結果を更新しました。

2012年12月13日

[遺伝子組換え実験及び動物実験 2013年度申請関係書類掲載](#)

遺伝子組換え実験及び動物実験の2013年度申請関係書類を掲載しました。

2012年11月15日

[2013年度 厚生労働科学研究に関する利益相反マネジメントの実施について 学内LAN限定](#)

2013年度 厚生労働科学研究に関する利益相反マネジメントの実施についての情報を公開しました。

2012年10月22日

[ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会 議事内容 公開](#)

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会 議事内容 公開しました。

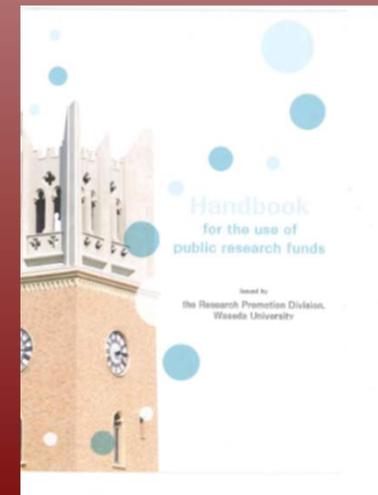
# パンフレット

- ・ 研究助成ガイド
- ・ 公的研究費使用ハンドブック
- ・ 学術研究倫理ガイド
- ・ 知的財産活用マニュアル
- ・ 利益相反マネジメントガイド
- ・ 安全保障輸出管理の手引き



等

- ・ 英語版も提供
- ・ (ほとんどが)Webページから  
ダウンロード可能



# 講演会の実施

開催日時等調整の  
難しさ

- 「研究活動と著作権

—研究者が知っておくべき著作権法の基礎知識—

講師: 本学法学学術院教授 高林龍

- 「科学者と研究の倫理

—研究不正に巻き込まれないために—

講師: お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授  
白楽ロックビル

- 「Fostering Honesty, Accuracy, Efficiency and Objectivity in Research: The Role of Universities」

講師: ミシガン大学名誉教授 米国研究公正局 (Federal Office of Research Integrity) 顧問 Dr. Nicholas H. Steneck

(所属は講演会実施時のもの)

## 今後の試み

# 教職員セルフマネジメントセミナーの実施

- ・ 内容
  - 学術研究倫理セミナー
  - 情報セキュリティセミナー
  - ハラスメント防止セミナー
- ・ 対象：全教職員（約7,700名）（情報セキュリティセミナー、ハラスメント防止セミナーについては非常勤講師も含む）
- ・ 3年ごとの全員一斉受講（2013年4月から）
- ・ 各セミナー：10～15分程度、テスト：合計で20問程度
- ・ 実施形態：CourseN@vi によるオンデマンドセミナー
- ・ 出欠管理
  - Waseda-net ポータルのログイン画面に、受講状況を表示
  - 一定期間経過後に所属長からの注意勧告

# まとめ

## ～研究における「安心」を提供～

- 研究者にとっての安心
- 社会にとっての安心

研究の妥当性を担保する業務

研究の適正実施をモニタリングする業務

### 早稲田大学学術研究倫理憲章

#### 利益相反マネジメント

公的研究費に関する利益相反マネジメント規程

利益相反マネジメント委員会

#### 研究における生命倫理

人を対象とする研究に関する倫理規程

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程

ヒトES細胞研究専門倫理委員会に関する規程

生物実験安全管理規程

人を対象とする研究に関する倫理委員会

ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会

ヒトES細胞研究専門倫理委員会

遺伝子組換え実験審査委員会

動物実験審査委員会

#### 研究費の適正使用

研究活動に係る不正防止に関する規程

#### 執行管理の実施

#### 学術研究活動に係る倫理的な行動規範

研究活動に係る不正防止に関する規程

学術研究倫理委員会

#### 研究における安全性の管理

生物実験安全管理規程

生物実験管理委員会



Thank you...

本資料の原案をお作りいただくとともに、日頃からより早稲田大学における責任ある研究活動の実現にご尽力いただいている早稲田大学研究推進部研究マネジメント課のみなさまに深く感謝いたします。

本資料は、深澤自身の独断と偏見に基づいている部分もあり、決して、全てが早稲田大学の統一的理解ではありません。

ご質問・ご意見等は  
fukazawa@waseda.jp まで